



# 山口晋平 県政報告

第3号

2015年秋

## 人間力と社会力

## 山口晋平

この度の関東及び東北での集中豪雨による災害に対し、お亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りし被災された方々にお見舞いを申し上げます。

4月の統一地方選挙で大きなお支えて無投票当選という結果を頂くことができました。皆様の願いを実現するため、そして兵庫県政を身近に感じて頂けるよう引き続き精進致します。

選挙後に、自民党議員団に入団しました。その産業労働部会の一員として「小規模企業の振興に関する条例」を議員提案する予定で準備を進めています。また議員の選挙と任期との空白が2か月ある問題も解消しようと議論が進んでいます。

新任期では農政環境常任委員会に所属しています。県の農林水産業・環境施策について、チェック・提案等を行っています。

昨年度は無所属としての活動でしたが、責任与党の一員として、また地元たつの市・太子町選出の議員として活動してまいります。その6月議会において一般質問（6月19日）をしました。地元の皆様からのご意見と私自身の願いを質問しました。内容は、



6月19日 本会議

- 1 テクノポリスの科学技術基盤の活用促進について
- 2 青少年の体験活動の推進（ふるさと意識の醸成）について
- 3 介護保険制度改正に伴う県の対応（特定事業所集中減算制度）について
- 4 獣害被害について
- 5 土砂災害対策について
- 6 土曜授業の復活について

の6項目です。

教育について、前号でも少し意見を述べましたが、「コミュニティ・スクール」という考え方があります。保護者や地域の声を学校運営に反映し、参画して活動する学校」のことを指します。地域の大人たち全員で子供たちを育てる、という考え方は、既にそのような活動をされている学校もありますが、更に全国的に広がっていくと思います。それが進むといずれ学校を核とした地域づくり「スクール・コミュニティ」、つまり学校づくりから地域づくりにつながっていくことになりそうです。



地元で意見交換会

大切なことは何事も人任せにするのではなく、我が事として取り組む意識転換が今の我々に必要なことではないでしょうか。

一般質問でもしましたが、「土曜授業の復活」というのは、世界の人々との競争になるこれからの時代を考えた時に日本が勝ち残る為であり、学校現場で基礎学力の底上げをすると同時に地域で子供たちを守り育て、日本人として自立し、日本人として誇りと自信を持ち、他人を思いやる人間力と、その人達と協働しながら生きていく社会力が必要だと感じているからです。それを兵庫県が先導的にして欲しいとの思いから質問しました。学校・子ども達を縁に、皆様と共に未来志向の地域づくりをしていきたいです。

是非皆様のご意見も聞かせて下さい。地域創生は、行政の施策ではなく、その住民が主体になることです。1人の100歩ではなく100人の1歩で、この地域を共に創っていきましょう。

まだまだ評判の上がらない兵庫県議会ですが、一歩ずつ前進したいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## マーガレットの花言葉

嶋田 由美子

山口晋平さんがたつの市と太子町の多くの皆様のご支援によりまして、県議会議員にならせていただき、行政のベテランといわれる議員の方々と共に活動し始めてわずか一年で、早や二期目がスタートしています。

後援会の中において、マーガレットという名のもと女性の目線と立場から支援の輪を広げているところです。マーガレットの花言葉は「誠実」「信頼」等で、晋平さんそのもので晋平さんにピッタリの「花」だと常々喜んでいきます。

この春の選挙で無投票当選をさせて頂いた後、まだ間もない時期に、この花言葉の「誠実」「信頼」の大切さを実感しました。皆様からも同じ思いの声が多く届いてきました。どなたもが「晋平さんを支援してよかった！支援しているのが晋平さんでよかった！」と思われたことでしょうか。

晋平さんはすべての人に対して、あらゆる事に対して「誠実」に立ち向かい、私達の「信頼」に応えるべく、積極的に全力を尽くして活躍しています。向学心が旺盛で責任感が強く、そばで安心して見守ることが出来ます。

たつの市民、太子町民の皆様  
の期待をしっかりと受けとめ、熱い情熱を胸にひめて、確かな歩みを重ねていくことと信じています。

皆様にはこれからも引き続き変わらぬご支援をいただきますようお願いいたします。



5月27日 地元の皆さんの県議会見学にて



# 未来につながる・つなげる ひょうごの子育て

## 子育て環境の充実へ

### まちの子育てひろば

子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して悩みを話し合ったり情報交換をしたりすることができ、まちの子育てひろば。絵本の読み聞かせや人形劇などの遊び、子育て相談、親子体操、工作などさまざまな活動を通して子育てを応援する場として、保育所や幼稚園、児童館など県内約2100カ所で開催されています。

また、大人5人以上のグループを条件に、ひろばの開設者を随時募集しています。登録されると保育士などの「ひろばアドバイザー」の派遣や専門のコーディネーターによる運営支援などを受けられます。

**申込・問合せ** 県男女家庭課  
☎078(362)4185

近くの子育てひろばは、ホームページで確認できます。  
まちの子育てひろば 検索

### 放課後児童クラブ・放課後子ども教室

共働き家庭等において、子どもの小学校入学によって放課後の預け先がなくなり、仕事との両立が難しくなる「小1の壁」が問題となっています。そのため、昼間に保護者が家庭にいない小学生に対して授業終了後、安全な遊び場や生活の場を提供する「放課後児童クラブ」（いわゆる学童保育）の設立・運営を支援しています。小学4年生以上の受け入れや運営時間を延長するクラブは拡大傾向にあります。18時以降も開設しているクラブ数は454件で、昨年度、初めて全体の半数を超えました。また、地域の皆さんの協力を得て、全ての子どもを対象に放課後や週末に小学校等で遊びや学習、スポーツ活動などの場を提供する「放課後子ども教室」も実施しています。

**問合せ** 県子ども政策課  
☎078(362)4232  
県教育委員会社会教育課  
☎078(362)3782

### 認定子ども園

平成18年に創設された認定子ども園は、幼稚園と保育所の良さを併せ持った施設です。現在、県内には全国2位の230園があり、さらに設置を進めています。

**問合せ** 県子ども政策課  
☎078(362)3215

### 認定子ども園Q&A

**Q. どのような施設ですか。**  
A. 保護者が働いている、いないにかかわらず就学前の子どもを受け入れ、幼児教育と保育サービスを一体的に提供する施設です。また、地域の子育て支援機能も備えており、通園していただくも子育て相談を受けたり親子の交流の場に参加したりすることができ、これにより、多様な子育てのニーズに応えることが期待されています。

**Q. 利用したいのですが、手続きはどうすればいいですか。**  
A. 三つの認定区分が設けられています。

①3歳以上で教育・保育の両方を希望する場合、または②3歳未満で保育を希望する場合は、お住まいの市町に保育の必要性認定の申請と利用希望施設の申し込みを。市町が調整をした上で利用する園と契約を結ぶこととなります。③3歳以上で教育のみを希望する場合は、利用希望の認定子ども園に直接申し込みをしてください。



子どもたちを安心して産み育て、その健やかな成長を社会全体で見守り支えていくために、県では地域の人々が子育てに参加し、共に成長していけるような取り組みを進めています。

## 地域ぐるみで学ぶ場を

### ひょうごがんばりタイム 放課後における 補充学習等推進事業

基礎学力を向上させるため、小中学校で放課後を活用し、個人の到達度に応じたプリント教材等に取組む児童・生徒を地域の社会人や教員経験者などが個別指導します。また、一部の学校では地元大学の連携し、教員を志望する学生を講師として受け入れるなど人材の育成にも生かされています。

**問合せ** 県教育委員会義務教育課  
☎078(362)3771

### 地域で「共育」 土曜チャレンジ学習事業

子どもたちがより豊かで有意義な土曜を送れるよう、多様な経験や技能を持つ地域の人材・企業が講師となってさまざまなプログラムを提供しています。市町の取り組みに対し、県では経費の3分の2を補助し、活動を支援しています。昨年度は16市町109カ所実施され、本年度は24市町218カ所予定されています。

**問合せ** 県教育委員会社会教育課  
☎078(362)3782

### 学校ではできないような体験を 地元の大人たちがプロデュース

土曜の朝に足取り軽く、喜々と集まって来た子どもたち。7月4日、豊岡市出石町の弘道地区公民館と市立弘道小学校の2会場で「弘道わくわくクラブ」の2回目の活動が行われました。

地元の有志が先生役となり、それぞれ得意なことを生かして将棋教室、ぶらり歴史さんぽ、詩吟など授業にはないような九つの講座を用意。小学校を通じて参加を呼び掛けたところ、在校生の約半数に当たる115人が加入し、前期は6月から月1回ペースで計5回開催されています。

「続けることの大切さを学び、持久力を身に付けてほしいので、前期の間は申し込んだ一つの講座をずっと受け続けてもらいます」と説明するのは、運営を担当する土曜チャレンジ学習事業運営委員会の委員長、小松和巳さんです。

委員会はPTA、公民館、小学校で組織され、昨年11月から会議を重ねて運営方針を決めてきたといいます。

この日、小松さんが担当する落語の講座では二人の児童が交互に

### 事例



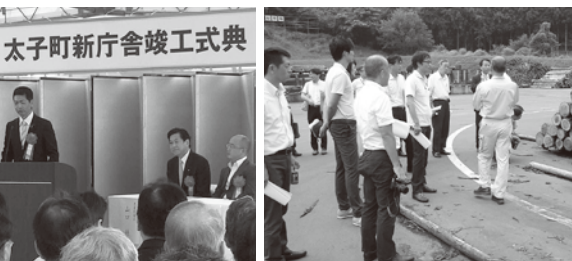
7月12日 バーベキュー懇親会にて



9月1日 市道山高駅線の開通・信号機点灯式にて  
(同日より 揖保川町市場の市道龍野揖保川御津線も信号機が点灯しています)



9月5日 太子町新庁舎の竣工式典にて



株式会社 山崎木材市場にて



坊勢漁業協同組合との意見交換



JAたじま こうのとりにカントリーエレベーター  
(コウノトリ育むお米等の広域乾燥調製貯蔵施設)を視察



円山川の全面魚道型農業用井堰



丹波市の「木の駅プロジェクト」の取組みについて意見交換

※県民だより「ひょうご」8月号より転載

### プロフィール

- ◆昭和52年11月10日
- ◆たつの市龍野町島田生まれ
- ◆龍野市立小宅小学校
- ◆龍野市立龍野東中学校
- ◆兵庫県立龍野高等学校 (48回生)
- ◆鳥取大学教育学部 総合科学課程理数情報コース卒業
- ◆平成12年7月より、衆議院議員 山口つよし秘書を務める  
家族：妻、長男  
趣味：読書、テニス  
血液型：B型  
好きな言葉：一期一会
- ◆平成26年4月 兵庫県議会たつの市及び揖保郡選挙区補欠選挙にて初当選。
- ◆平成27年4月 当選 (2期目)  
現在 農政環境常任委員会委員

### 山口晋平事務所

〒679-4121 たつの市龍野町島田 29-1  
TEL 0791-65-1919 FAX 0791-60-1126

何でも  
ご意見ください

E-mail  
shimpei1110@gmail.com

山口晋平 ブログ 検索